



(別添)

2022年9月16日  
NITE(ナイト)  
独立行政法人製品評価技術基盤機構  
中国支所

# News Release

～「はしご・脚立」の誤使用は大ケガにつながります～

—中国5県版—

## 1. はしご・脚立に関する事故発生状況

NITE(ナイト)に通知された製品事故情報<sup>※1</sup>では、はしご・脚立に関する事故<sup>※2</sup>は、中国地方5県(鳥取県、島根県、岡山県、広島県及び山口県)では2017年度から2022年度までの6年間に9件<sup>※3</sup>ありました。

(※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報(被害なし)を含む。

(※2) はしご、脚立、はしご兼用脚立、いずれも含む

(※3) 重複、対象外情報を除いた事故発生件数。

### (1) 中国5県の年度別 事故発生件数

表1に「年度別・県別」はしご・脚立に関する事故発生件数を示します。

表1 「年度別・県別」はしご・脚立に関する事故発生件数

年度	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	合計
2017年度					1	1
2018年度		2				2
2019年度				3		3
2020年度			1			1
2021年度				1		1
2022年度			1			1
合計	0	2	2	4	1	9

(2) 中国5県の被害状況別 事故発生件数

表2に「被害状況別・県別」はしご・脚立に関する事故発生件数を示します。

表2 「被害状況別・県別」はしご・脚立に関する事故発生件数

被害状況 <sup>※4</sup>		鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	合計
人的被害	死亡						0
	重傷			1	2		3
	軽傷		2	1	2	1	6
物的被害	拡大被害						0
	製品破損						0
被害なし							0
合計		0	2	2	4	1	9

(※4) 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

(3) 中国5県の事故原因区分別 事故発生件数

表3に「事故原因区分別・県別」はしご・脚立に関する事故発生件数を示します。

表3 「事故原因区分別・県別」はしご・脚立に関する事故発生件数

事故原因区分	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	合計
A：設計、製造又は表示等に問題があったもの						0
B：製品及び使い方に問題があったもの						0
C：経年劣化によるもの						0
G3：製品起因であるが、その原因が不明のもの						0
D：施工、修理、又は輸送等に問題があったもの						0
E：誤使用や不注意によるもの			1	1	1	3
F：その他製品に起因しないもの						0
G：原因不明のもの（G3を除く）		2		2		4
H：調査中のもの			1	1		2
合計	0	2	2	4	1	9

## 2. 事故事例の概要について

中国5県で発生した、はしご・脚立の主な事例を示します。

### ○屋根から降りる際に脚立の天版に乗ったため、バランスを崩して転倒した事故

2017年4月（山口県、40歳代・男性、軽傷）

#### 【事故の内容】

はしご兼用脚立を脚立状態で使用中、転倒して軽傷を負った。

#### 【事故の原因】

被害者が屋根から降りる際、脚立の天板上に乗ったため、バランスを崩して脚立が横方向に転倒し、傾いた状態の脚立の上側支柱に被害者の身体が落下したものと推定される。

なお、取扱説明書及び本体表示には、「バランスを崩して転倒や転落の危険があるので、天板の上には乗ったりしない」旨、記載されている。

### ○踏み台を使用中、足場の踏ざんが脱落して転倒した事故

2018年12月（鳥根県、年齢不明・男性、軽傷）

#### 【事故の内容】

踏み台を使用中、踏ざんが脱落し、転倒して打撲を負った。

#### 【事故の原因】

踏ざんを取り付けている支柱のねじ取付穴が使用時の荷重により拡大したため、踏ざんにがたつきが生じ、ねじに荷重が繰り返し加わり続けたため、ねじが破断して踏ざんが支柱から脱落したものと考えられるが、業務用で使用されており、使用状況が不明なこと、事故品支柱の寸法、強度が確認されていないことから、ねじ取付穴が拡大した原因の特定はできなかった。

### ○天版の端に立って作業をしていたため、バランスを崩して転倒した事故

2020年6月（岡山県、50歳代・男性、重傷）

#### 【事故の内容】

踏み台を使用中、転倒して軽傷を負った。

#### 【事故の原因】

事故品の寸法、肉厚及び硬度に異常は認められず、同等品で実施した落下衝撃試験（質量60kg、底面直径30cmの砂袋を高さ160cmから落下）の結果、事故品と同じ破損状態になったことから、使用者が事故品の天版の端に乗って作業をしていた際にバランスを崩して転落し、支柱に接触したものと推定される。

なお、取扱説明書には、「天版に乗るときは、身体が天版の中央になるように乗る」旨、記載されてる。

### 3. はしご・脚立関連の実験映像について

はしご・脚立についての実験映像及び静止画をご希望の場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITE のロゴ」としてください。

**(本件に関するお問い合わせ先)**

〒730-0012 広島市中区上八丁堀 6-30 広島合同庁舎 3号館

独立行政法人製品評価技術基盤機構 中国支所

担当者：東瀬、折田

電話：082-211-0411

以上